



# 同窓会だより

校訓  
 けいしん あいち  
 敬心 愛知  
 けんし りょっこう  
 堅志 力行

## 在校生の活躍

## 陸上部

○今日は中国新人大会で活躍した陸上部の皆さんにお集まりいただきました。瀬尾隼平(しゅんぺい)さん(2年生)、大森琉翔(りゅうと)さん(2年生)、そして顧問の砂取優奈先生です。

○出身中学校はどちらですか？

**瀬尾**：宮浦中学校です。

**大森**：私は第二中学校です。

○陸上を始めた契機は何ですか？

**大森**：陸上をやっていた両親から勧められたのがきっかけで、小学校の時に姉と一緒にクラブチームに入りました。

**瀬尾**：小学校の体育などで走るのが早い方だったので、中学校では陸上部に入ろうなかと考えていました。

○練習が苦しいと思ったことは？

**瀬尾**：冬季の練習は特にきつと感じますが、走るのが好きなので大体は楽しいです。きつい練習のときはめっちゃめっちゃしんどいけど、大会で良い記録が出たり思うような走りができたりしたときに楽しいなと思います。

○先生は厳しい練習をさせているのですか？

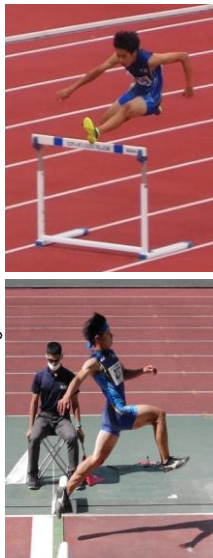
**砂取**：そうですね、まあ、二人を筆頭に頑張りたいという生徒がいるので。私は、何となく3年間を陸上部に入って終わるのではなく、結果を残したり、目標に向かって努力することで成長したりと、三原高校の陸上部に入って良かったという気持ちを持って引退して欲しいので、怖いとか鬼とか言われてもきつい練習をさせたり練習への姿勢について厳しく言ったりすることもあります。

○部員の皆さんからそう言われているのですか？

**砂取**：はい、言われています。この二人は、最近成長して言わなくなりましたが。でも、厳しくは……、えっ、厳しい？

**大森**：めっちゃめっちゃ厳しいです。

**瀬尾**：走り込みとか、メニューは厳しいけど、でも先生



<b>ベスト記録</b> <b>400mH</b> <b>55秒43</b>		<b>ベスト記録</b> <b>走幅跳</b> <b>6m92</b> <b>200m</b> <b>22秒08</b>
--	--	--

は厳しくはないです。(大森君も頷く)

○二人の専門種目と記録を教えてください。

**瀬尾**：私の専門種目は400mと400mハードル(中国新人第3位)です。ベスト記録は、400mハードルが55秒43、400mは50秒20です。

**大森**：私は200mと走幅跳です。200mが22秒08で、走幅跳は6m92(中国新人第4位)です。

**砂取**：瀬尾くんは昨年5月の県総体では決勝にも行っていません。でも、県総体後からどんどん記録が伸びてきて、これからが更に楽しみです。

大森くんは体の調子も上がって本来の力を発揮することができました。今、広島県の走幅跳は上位の方が密集している状況です。その上位グループに大森君もいて、そこから飛び出せるように頑張っています。足がつるといふ癖があるけれど、中国大会ではそれを克服して4位になりました。

○陸上の名門校への進学は考えなかったのですか？

**瀬尾**：中学時代はおもに長距離をやっていましたが、記録としては目立つ方ではありませんでした。県大会にも出ていないので、陸上で進学とは思っていませんでした。

**大森**：僕は、中学2年生の時に練習を見に来ないかと誘われたことがあり少し考えましたが、中学3年生の時に怪我をして記録がなかったのが、推薦などはありませんでした。それと、自分は性格的に強豪校の雰囲気や練習とかが合っていないような気がして、先生にいろいろ言われて練習するのが好きではありません。

○二人のそれぞれの個性はどのようなのですか？

**砂取**：大森くんは、マイペースです。そして、ムードメーカーかな。上手くごまかしてさぼろうとする時もあるけど、それもなにか愛嬌があって怒りきれないところもあります。彼は集中力が高いので、やることはやる、そのポイントは抑えていて自分のペースで伸びてきています。

瀬尾くんは、まさにキャプテンです。堅実で真面目で熱心。信頼がおけます。二人とも努力家で自己分析にも長けているし、一緒に伸びていきたいという向上心を持っています。二人で活躍してくれることを期待しています。

○目標とする記録、大会は？

**大森**：今考えているのはインターハイです。

**瀬尾**：僕もインターハイに出たいと思います。

**砂取**：県新人大会では、マイル（4×400mリレー）でも4位入賞して、メンバーには1年生も二人います。来年は個人種目でもリレーでも、中国大会やインターハイを狙いたいです。

○練習時間や練習メニューでの工夫は？

**砂取**：グラウンドのトラックでしっかり練習できるのは週に二日、完全下校時刻があり時間にも余裕がない状況で、環境は決して恵まれているわけではありませんが、その中で最大限の質と量を考えてやっています。一人ひとりの記録や体調を考えながら、負荷をかけたり課題を克服したりするような練習メニューを立てています。一方的にこうなさいというよりは、ここは絶対という方針や練習の形は作っておいて、「こういう部活にしたい」「この様なメニューを取り入れたい」というようなことを生徒と相談することもあります。

○陸上部の雰囲気はどのような感じでしょうか？

**砂取**：部員は13名と少人数ですが、部員同士和気あいあいとして雰囲気は良いと思います。生徒たちの入部の目的が幅広く、二人のようにインターハイを目指するという生徒から、体力づくりが目的という生徒もいます。陸上に対する気持ちや熱意がさまざまな13人をまとめるのが難しいこともあります。それでも、自己ベスト記録を更新したいという気持ちは全員同じなので、みんなの気持ちをついに同じ法を向いて頑張っていこうと伝えるようにしています。意識を高く上を目指してというところでは、二人が引っ張ってくれています。三原高校に赴任して2年目ですが、私も一緒に成長させてもらっていると思っています。

## 会長挨拶

### 「世界平和のために」

同窓会会長 戸野 法史(23回生)

三原高校同窓会 74 回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本同窓会に皆さんをお迎えできることを嬉しく思っています。

さて、皆さんが三原高校で生活された3年の間に、コ

ミュニケーションの方法が、iPhone やタブレットを媒体としても違和感もなく成立するものになってしまったように思います。しかし、どのように変わろうとも、人と人との関係を密接に結んでいくという人間の持つコミュニケーション能力を大切にしなければならないことは不易の真理です。お互いの不信感は無知と偏見によって増幅されますから、皆さんにはインターネットやSNSなどを利用して世界との時間と距離を縮め、多くの国々の人とのコミュニケーションを図っていただくことを希望します。

今、ロシアによる侵略に苦しむウクライナ共和国は、かつてチヨルノービリ（チェルノブイリ）原子力発電所事故による放射能汚染を経験しています。そのウクライナをロシアによる核攻撃によって新たな被爆国としてはなりません。

日本国憲法の前文に「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」とあります。HIROSHIMA で育った皆さんには、平和を希求する意志をもっていただきたいと思っています。自らの価値観や倫理観に基づいて思考し、多くの人々と共に行動され、夢や希望の実現や平和で豊かな社会の実現に取り組んでいただくことを願っています。

## 関西支部長挨拶

### 卒業生に贈る言葉

同窓会関西支部支部長 田中 道裕(18回生)

皆様、この度はご卒業おめでとうございます。私は18回生ですから、74回生の皆様とは56年もの年齢差があるのですね？この56年の間に、日本を含む世界中の社会状況は大きく変わってきました。私の拙い経験でも皆様に何かお役に立つアドバイスが出来ればと思い、僭越ながら以下のショートメッセージをお送りします。

先ず私の略歴を申し上げます。鷺浦中学、三原高校を卒業して、広島大学に進学し、伊藤忠商事に就職。それ以来広島県を離れ、65歳で完全に仕事をリタイアした現在は、兵庫県西宮市に住んでいます。その間、ブラ



ジル、メキシコ、米国(ダラス、LA)、中国(上海)と合計20年近く海外駐在生活を経験しました。この間世界の色々な人たちと接し様々な苦労はしましたが、それぞれの文化、習慣、思考形態などの違い(diversity: 多様性)を現地の日常生活の中で学べたのは自分の見聞を広める貴重な体験となりました。

最近の若い人は故郷を離れたがらない人が増えていると聞きます。三原高校の卒業生も例外でなく、離れてもせいぜい県内止まりが多くなったとも聞きます。私は現在も関西支部の初代支部長をやっていますが、実際、当支部に入会して頂ける人は随分減っています。

三原は温暖な気候に恵まれ風光明媚な暮らしやすい町だと思います。帰省するたびに再認識しています。ただし残念ながら、私が高校に通っていたころの企業城下町の面影はなくなり、町の中で何か刺激を受けたり触発されたりする機会が随分少なくなった様に思われます。市長さん以下市を挙げて三原市の復興に情熱を傾けられている事は良く存じあげています。皆様の中からも地元に残りその一端を担う事は重要なミッションでしょう。しかし一度暮らしやすい故郷を離れ、外でもまれてみるのも得難い経験が積める別の大きな選択肢だと思います。情報ネットワークは今後もどんどん進化するでしょうから、仕事する場所の選択は昔ほど拘る必要がなくなるのかも知れませんね。

皆様の時代は本当に人生100年が実現するでしょう。これからの80年、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。Good Luck!

### 活躍する卒業生

## 約束の時間

(有)三原スパル販売 古屋敷 太(27回生)

◇無理をお願いしてお話を伺えることになり感謝します。さて、三原高校を卒業された後どのような進路を選択されたのですか？



**古屋敷**：広島にあった自動車短期大学に進学しました。周りの多くは工業高校から入学した学生で、普通科の私は専門的な知識や技術面で彼らと比べるとハンディがありましたが、懸命に勉強したので卒業時には首席でした。

◇就職はされたのですか？

**古屋敷**：ええ、大学の推薦で、現在のニッサン(東京

の西荻窪に研究室がありました)に就職しました。そこでスカイラインの足回り(スタビライザー)の研究開発に携わることになりました。しかし、そこにも2年しかいませんでした。車というのは部品ごとに細分化されているため、細かなパーツの実験・データの収支、分析、改良そしてまた実験という繰り返しで、先が見えたような気がしたのです。

◇なんだかもったいないというか、何があったのですか？

**古屋敷**：父親から「短大卒業後の5年間は好きなようにしていい」といわれていたこともあり、また、以前から外国への興味もあったので、サウジアラビアのジェッダに向かいました。空港建設用重機の整備技術者の指導に携わることにしたのです。気候や習慣も異なる厳しい環境での2年半の契約期間を終え、帰国前の二か月半、西ヨーロッパ諸国をバックパッカー一つで歩き回りました(笑)。

◇今までのお話を伺うと大胆な決断の繰り返しをされておられることに驚くのですが、帰国後に家業を継がれたのですか？

**古屋敷**：いえ、帰国後マツダの海外サービス部に採用され、アメリカやサウジアラビアなどへの出張を繰り返し、28歳で父親の創業した今の会社を継ぎました。『約束の時間』よりも3年が過ぎていました。

◇大変貴重な経験を聞かせていただきありがとうございます。

**古屋敷**：自分としてはそれほどのことと思っているわけではないのですが、若い皆さんには、様々な可能性を模索する時間も必要なのだと感じていただければ嬉しく思います。

◇会社の将来像はどのように描かれておられますか？

**古屋敷**：今、自動車販売という仕事は大きな転換点に直面しています。先行きがまだ不透明ではあるけれどいずれ電気自動車へ移行します。モーターと電子制御システムの知識が求められるので、新たな挑戦を始めようと考えています。

### 活躍する卒業生

## 今は未来のために

(有)自動車共和国 木下貴弘(49回生)

私の高校時代を振り返ってみると親や先生への反抗と虚無感の3年間だったと思います。具体的には入部したバスケットボール部も人間関係のもつれから半年程度で辞め、勉強も周りに付いて行けず、やりた

い事が無く将来の事も考えられず、ただ毎日が過ぎていました。特に2年生の時は退学まで考えていた程でした。本当に全てがどうでもよかったの



だと思います。しかし、当時の先生方のご尽力のおかげでなんとか卒業できました。高校卒業に何の意味があるのかわからないままでしたが、結婚・就職を機に三原に帰郷し父の会社に入社して初めて三原高校での苦しかった三年間に意味があったとわかりました。

父の会社は宮浦で新車・中古車の販売や修理をしています。今年で37期目になります。その会社で働いていると、沢山の卒業生にお会いします。ちなみに父と母も卒業生で同級生結婚しています。同じ高校を卒業しているというだけで親近感も沸き話も弾みます。三原市内の経営者団体に入会しても卒業生が勿論たくさんいます。さつき祭りなどの地域のお祭りのお手伝いをしても卒業生がいます。この様に当時は意味を感じ無かった「三原高校卒業」という歴史が、25年経った今は感謝に変わっています。

実は、私は今日ご卒業の皆様と同級生の親でもありません。私と同様、先生方に色々ご迷惑をかけながら無事卒業してくれた息子にもいつか「高校卒業」又は「高校生活の思い出」が生きる時が来ると思っています。

高校生活で色々周りに迷惑や心配をかけ部活も続かなかった私ですが、帰郷を機に始めた趣味のバスケットボールは19年目に入ります。下手ですが個人的には最高のストレス発散でもあり、そのバスケができる為の体育館の予約や取仕切りなどを通して社会人として

成長させてもらっています。バスケ仲間から3組の夫婦が生まれるお手伝いもできました。さつき祭りの実行委員長やPTA会長など当時の私からは考えられない責任ある役を頂く事が増えてきました。卒業生へのこの文章を書かせて頂くとは、当然25年前の私には想像もできませんでした。

このような感じで、今までの皆さんが生活された18年間の人生で今は無駄や面白くないという事が、どこかで自分の為に役立つ時が来るかもしれません。又は今できてない事や絶対自分には向いてない事が10年以上経ったらできる様になっているかもしれません。面倒くさい、だるいは人生沢山あります。ですが、本当に未来の自分の糧になるという1つの例の話でした。

#### 三原高等学校器楽部第42回定期演奏会案内

- 1 日時：令和5年3月26日（日）  
15時30分開場 16時開演
- 2 会場：三原リージョンプラザ

#### 三原高等学校同窓会令和5年度総会案内

- 1 日時：令和5年8月13日（日）  
総会 17:00～  
懇親会 17:30～19:00

- 2 会場：三原国際ホテル

変更等は三原高等学校同窓会ホームページでお知らせします。<https://mihara-h-dosokai.sakura.ne.jp/home/>

(右のQRコードも可)

なお、今年度の当番幹事は、末尾に1のつく21、31、41、51、61回生が担当します。

